

教科名	理科	学年	第1学年	教科担当者：中澤
-----	----	----	------	----------

《学習目標》

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関り、科学的に探究しようとする態度を養う。

《年間授業実施計画》

月	単元名・教材名等	学習内容・項目等	学習ポイント・その他
4	【生命】いろいろな生物とその共通点	・観察、実験のしかたや考え方を活用し、いろいろな生物の特徴を見出して生物の基本的な作りを理解させるとともに、見出した特徴に基づいて生物を分類するための技能を身につけ、整理して表現する力を身につける。	・身近な植物、動物について観察を通して、生物の調べ方の基礎を学習するとともに、生物の体のつくりの特徴を理解させ、共通点や相違点、多様性に気づかせ、生物の世界についての総合的な認識を深める。
5	1章 植物の特徴と分類	・植物と動物を対比しながらそれぞれが生活環境に適応して生き、子孫を残していくために、巧妙で多様なつくりをもっていることを理解する。	・学習を通して生物の命の尊さに気づかせ、その保全や生命尊重の態度も育てる。
6	2章 動物の特徴と分類	・観察や実験を行うことで、今まで気づかなかった生物の新しい姿を知る。	
7			
8	【物質】身のまわりの物質	・身の回りの様々な物質に対する理解を深めるとともに、物質の性質や変化について調べる方法を身につける。	・理科の見方・考え方を働かせながら、身の回りの物質に関する探究的な学習を通して、物質のもつ基本的な性質の理解を深めさせるとともに、観察・実験などを行うために必要な基本的な技能を習得させ、思考力・判断力・表現力や主体的に探究しようとする態度を養う。
9	1章 いろいろな物質とその性質	・物質がそれぞれ固有の性質をもつことを理解させ、その性質を利用してその性質を利用して物質を区別する方法を身につける。	
10	2章 いろいろな気体とその性質		
11	3章 水溶液の性質		
12	4章 物質のすがたと状態変化		
1	【エネルギー】光・音・力による現象	・身近な物理現象を日常生活や社会と関連づけながら理解させるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。	・身近な物理現象に興味・関心を持たせ、理科の見方・考え方を働かせながら、探究的な学習を通して光・音・力に関する基礎的・基本的な性質への理解を深めさせるとともに、規則性や関係性を調べる観察や実験における基礎的操作や技能を身につけさせる。
2	1章 光による現象	・身近で起こるこれらの減少について、観察や実験を通して規則性や関係性を見出したり、探究したりすることで理解する。	
3	2章 音による現象		
4	3章 力による現象		
5			
6	【地球】活きている地球	・大地の成り立ちと変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。	・理科の見方・考え方を働かせながら、大地の成り立ちと変化に関する探究的な学習を通して、地表にみられる事物・現象と関連づけながら、絶えず活動し続ける地球の姿についての理解を深めさせるとともに、観察・実験を行うための基本的な技能の習得、科学的に探究するために必要な思考力・表現力・判断力、主体的に学ぶ態度を養う。
7	1章 身近な大地	・地域の身近な大地と地球のつながりを意識させながら、各自然現象の特徴や仕組みなどにについて時間的・空間的な視点のほか、原因と結果などの様々な視点から、比較・関連づける。	
8	2章 ゆれる大地		
9	3章 火をふく大地		
10	4章 語る大地		

《評価の観点および具体的な評価方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

評価の観点	具体的な評価方法
観点1	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
観点2	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
観点3	自然の事物・現象に進んで関り、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

《教科の約束事》

- ① 授業では積極的に挙手をし、意欲的に授業に取り組みましょう。
- ② 教室の授業では、チャイムが鳴る前に準備を終えて着席しましょう。
- ③ 理科室の授業では、『みんなが安全に、安心して実験ができるように心がけること』を徹底し、事故がなく安全な実験を行いましょう。
- ④ 実験中は先生の指示をよく聞き、ルール（薬品を使う際の保護メガネの着用、立って実験をする、薬品の取り扱いに注意する、火を扱うときに燃えやすいものを机上に置かない等）をよく守りましょう。
- ⑤ 授業プリント、ワーク、ノート等の提出物は決められた日に提出しましょう。

【持ち物】

・教科書 ・ワーク（ワークノート） ・ファイル ・筆記用具

《指示があったときに持ってくるもの》

・実験に必要な道具 ・色鉛筆 ・のり ・はさみ 等

※教科担当の指示をよく聞いてください。